

厚生労働省
群馬労働局発表
令和5年12月27日

【照会先】
群馬労働局労働基準部健康安全課
課長 芳賀 裕
地方産業安全専門官 鈴木 淳
(電話) 027-896-4736

報道関係者 各位

「冬こそ STOP！転倒災害」 ～ 冬季の転倒災害防止に重点的に取り組みます ～

群馬労働局(局長 加藤博人)は、1月から3月を「冬季転倒災害防止重点取組期間」と位置付け、『冬こそ STOP！転倒災害』をキャッチフレーズとして、凍結・積雪による冬季の転倒災害の防止に重点的に取り組みます。

群馬労働局では、平成28年から「STOP！転倒災害プロジェクト」を実施しています。特に冬季においては、凍結・積雪など天候(気象条件)の影響により、転倒災害が他の時季に比べて多発しやすい傾向がみられることから、事業者以下に以下の対策の実施を求めてまいります。

< 冬季における転倒災害防止対策 >

1 準備期間(冬季前)

- (1) 地域の気象状況を踏まえ、積雪、凍結前に労働者に対する注意喚起
- (2) 積雪、凍結前に転倒のおそれのある箇所の事前確認

2 冬季期間

- (1) 気象情報の活用によるリスク低減の実施

大雪、低温に関する気象情報を迅速に把握する体制の構築

警報・注意報発令時等の対応マニュアルの作成、関係者への周知

気象状況に応じた作業計画等の見直し

- (2) 通路、作業場所の凍結等による危険防止の徹底

屋外通路や駐車場における除雪、融雪剤の散布による安全通路の確保

事務所への入室時における靴裏の雪、水分の除去、凍結のおそれのある屋内の通路、作業場への温風機の設置等による凍結防止策の実施

屋外通路や駐車場における転倒災害のリスクに応じた「危険マップ」の作成、関係者への周知

凍結した路面、除雪機械通過後の路面等における荷物の運搬方法、作業方法の見直し

凍結した路面や凍結のおそれのある場所(屋外通路や駐車場等)における転倒防止のための滑りにくい靴の着用の勧奨

(「群馬労働局 STOP！転倒災害プロジェクト実施要綱」より)

また、転倒災害のおよそ3分の2は「骨折」を伴う結果となっているところ、休業期間が長期化して業務への影響が生じやすい災害でもありますので、事業場において、リスク低減をはじめとした転倒災害の未然防止に向けた積極的取組を実施していただくよう、呼び掛けてまいります。

【災害事例】

- ・ 工場間を徒歩で移動中、積雪で足を滑らせて転倒したが、その際に地面に手をつき、手首を骨折した（60代女性、休業1か月）
- ・ 朝、駐車場から事務所向かって坂道を下っている時、道路が凍結していたため、足を滑らせて転倒し、足を骨折した（50代男性、休業4週間）
- ・ 屋外の積雪の状況を確認し、工場内に戻った際、出入口において、靴底に付着した雪で足を滑らせて転倒し、膝を負傷した（骨挫傷）（20代男性、休業2か月）

添付資料

資料1 「群馬労働局管内における転倒災害発生状況」

資料2 「冬こそSTOP！ 転倒災害」

資料3 「STOP！ 転倒災害」

参考1 「令和5年 労働者死傷病報告受理件数表」（令和5年11月末現在）

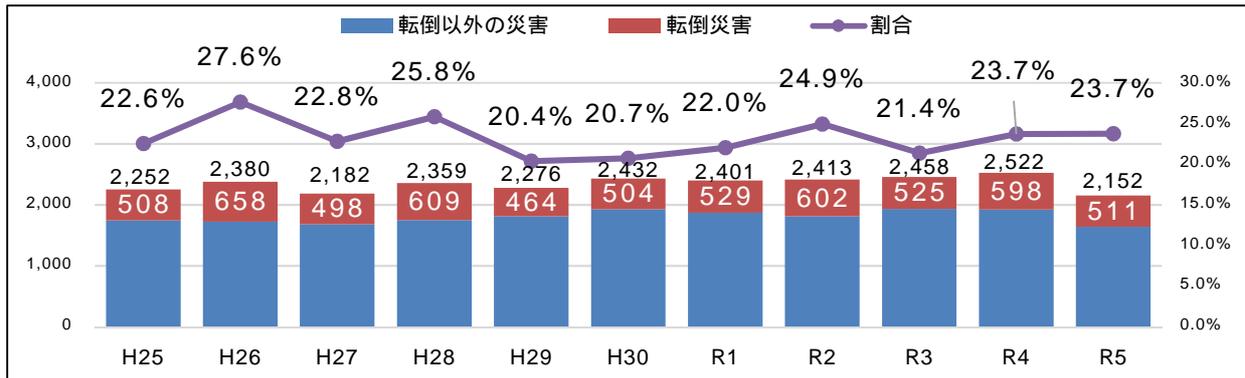
参考2 「令和5年 死亡災害事例」（令和5年11月末現在）

群馬労働局管内における転倒災害発生状況

1 年別推移

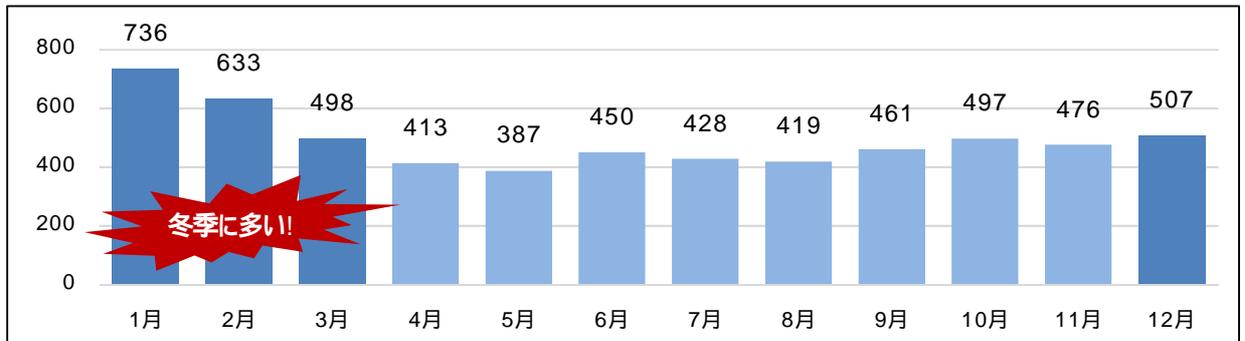
	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	総計
転倒災害	508	658	498	609	464	504	529	602	525	598	5,495
総計	2,252	2,380	2,182	2,359	2,276	2,432	2,401	2,413	2,458	2,522	23,675
転倒災害の占める割合	22.6%	27.6%	22.8%	25.8%	20.4%	20.7%	22.0%	24.9%	21.4%	23.7%	23.2%

総計は新型コロナウイルス感染症によるものを除く 令和5年は11月末時点での件数



2 転倒災害月別発生状況 (平成25年～令和4年の合計)

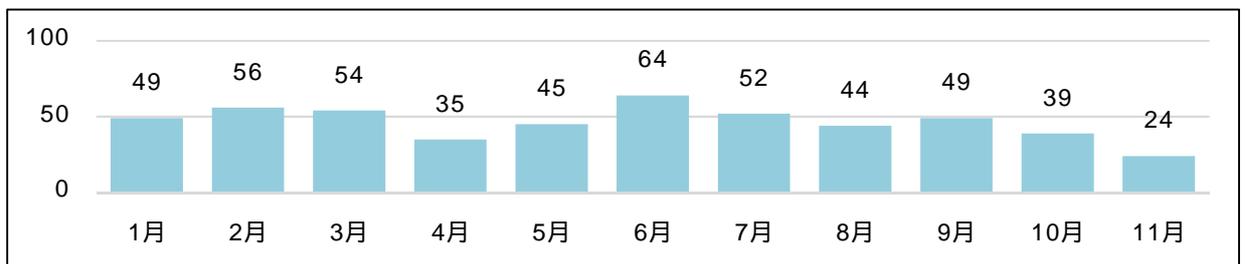
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
死傷者数	736	633	498	413	387	450	428	419	461	497	476	507



【参考】 発生月別 (令和5年)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	総計
死傷者数	49	56	54	35	45	64	52	44	49	39	24	511

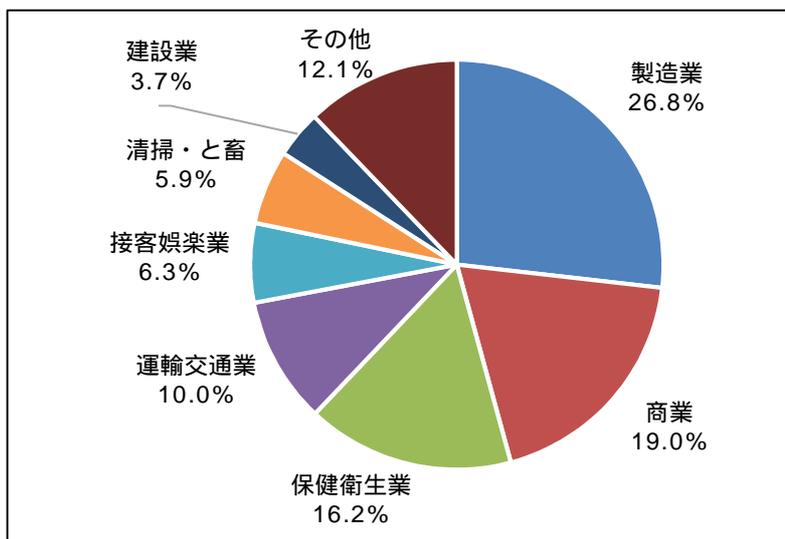
11月末時点での件数



3 業種別（令和5年）

	死傷者数
製造業	137
商業	97
保健衛生業	83
運輸交通業	51
接客娯楽業	32
清掃・と畜	30
建設業	19
その他	62
総計	511

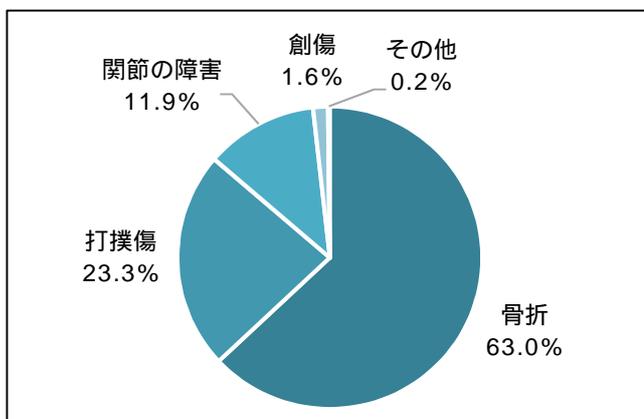
11月末時点での件数



4 傷病性質別（令和5年）

	総計
骨折	322
打撲傷 (皮膚の剥離、擦過傷、挫傷及び血腫を含む)	119
関節の障害 (捻挫、亜脱臼及び転位を含む)	61
創傷 (切創、裂創、刺創及び挫滅傷を含む)	8
その他	1
総計	511

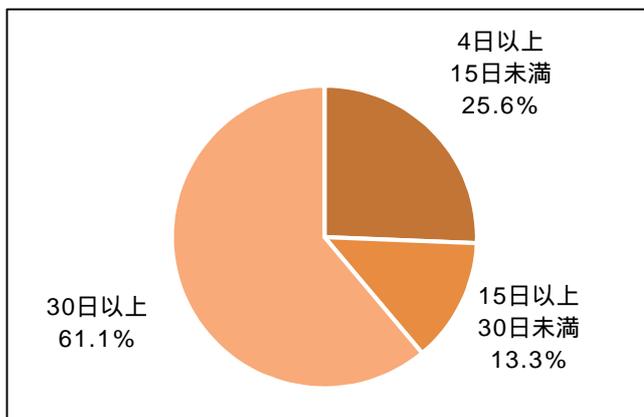
11月末時点での件数



5 休業日数別（令和5年）

	総計
4日以上 15日未満	131
15日以上 30日未満	68
30日以上	312
総計	511

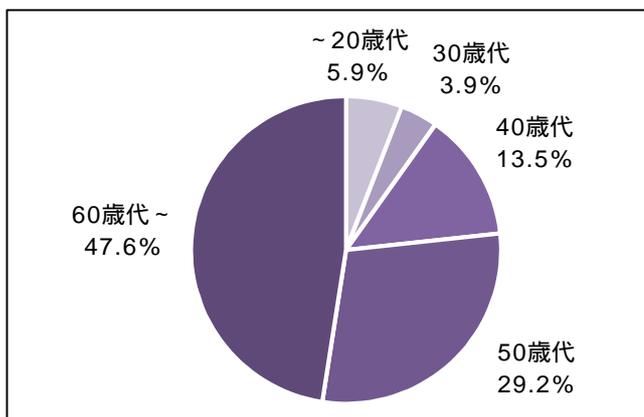
11月末時点での件数



6 年齢別（令和5年）

	総計
～20歳代	30
30歳代	20
40歳代	69
50歳代	149
60歳代～	243
総計	511

11月末時点での件数



冬こそ!



STOP!

転倒災害

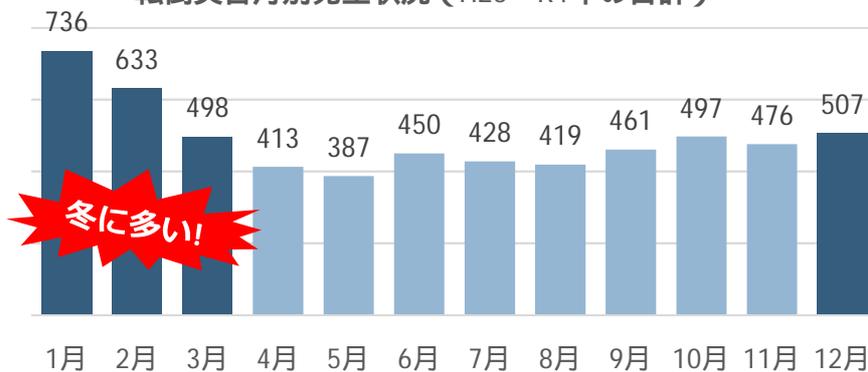
1月～3月は冬季転倒災害防止重点取組期間です

転倒災害は冬季に多く発生しています。

降雨、降雪後の凍結路面に注意して、靴底の雪や氷はよく落としてから部屋に入りましょう。

濡れた通路などは早めに拭き取りましょう!!

転倒災害月別発生状況 (H25～R4年の合計)



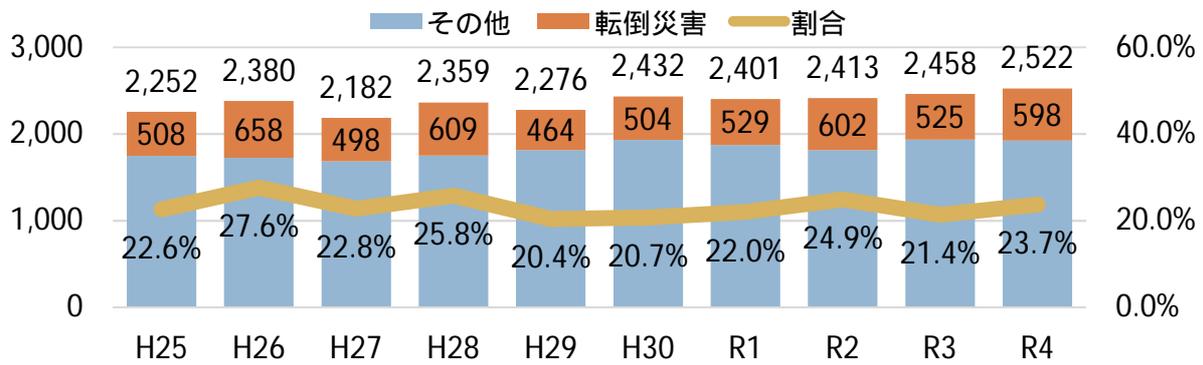
資料：労働者死傷病報告

～転倒災害防止の5カ条～

- 👉 ポケットから手を出して歩こう!
- 👣 雪道や凍った道は小股で歩こう!
- 👟 路面や床面に合った靴を履こう!
- 🕒 時間に余裕を持って行動しよう!
- 💪 日頃から足腰を鍛えよう!

転倒災害防止のための取り組みを!!

転倒災害発生状況の年別推移



資料：労働者死傷病報告

月別の転倒災害発生状況は、特に1月から3月が多く発生しています（表面グラフ参照）。

冬季は、天候（気象条件）が大きく影響していることから、積雪や凍結の前に、転倒のおそれのある個所の事前確認や労働者に対する注意喚起、天候に応じた対応も含めた転倒災害防止対策を、労使が一体となって取り組みましょう。

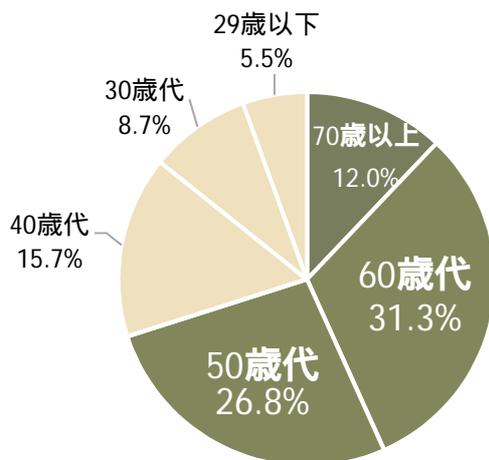


高年齢労働者の転倒災害をなくそう!

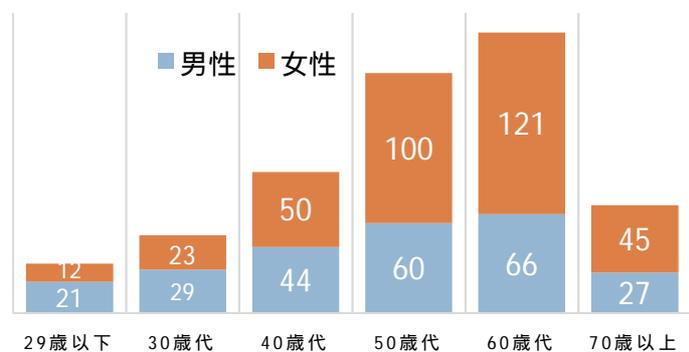
「転倒災害」は50歳以上が全体の7割以上を占めています。

これは加齢による筋力や平衡感覚、視力の低下などが考えられます。

また、一般的に女性は、男性より筋肉量や骨量が少ないとされ、転倒によるケガのリスクが高くなっています。



転倒災害における年代別労働災害発生状況（令和4年）
資料：労働者死傷病報告



転倒災害における年代別性別労働災害発生状況（令和4年）
資料：労働者死傷病報告

参考

群馬労働局ホームページ「STOP!転倒災害プロジェクト」

https://jsite.mhlw.go.jp/gunma-roudoukyoku/hourei_seido_tetsuzuki/anzen_eisei/anzen_tentou_project2015.html



群馬労働局
労働基準部 健康安全課

〒371-8567 群馬県前橋市大手町2-3-1

Tel 027-896-4736 fax 027-896-2111

<https://jsite.mhlw.go.jp/gunma-roudoukyoku/home.html>

仕事中的の転倒災害をなくそう!!



転倒災害は、すべての職場で発生する可能性があります。

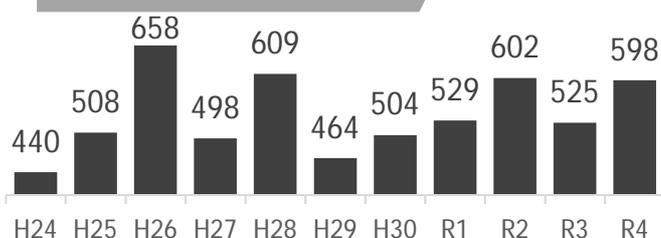
職場での転倒の危険性は、働くすべての人が問題意識を持って原因を見つけ、対策をとることで減らすことができます。

たかが「転倒」と侮るなかれ！

あせらない 急ぐ時ほど 落ち着いて

転倒災害防止対策に取り組み、「安全・安心な職場づくり」を進めましょう！

転倒災害発生状況の推移



転倒リスク・骨折リスク

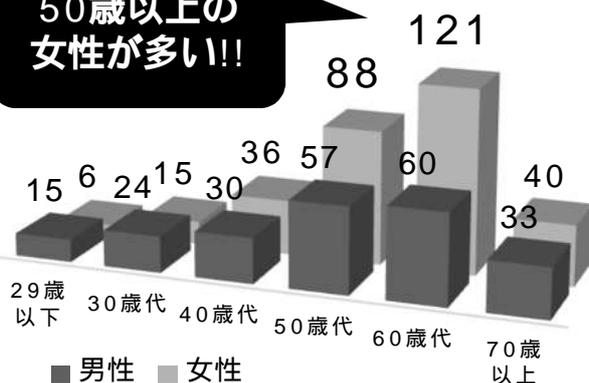
一般に加齢とともに身体機能が低下し、転倒しやすくなります

特に女性は、加齢とともに骨折のリスクが増大します
(骨粗しょう症など)

たった一度の転倒で寝たきりになることも…

性別・年齢別転倒災害発生状況

50歳以上の女性が多い!!



厚生労働省 群馬労働局

群馬県前橋市大手町2-3-1

027-896-4736

☎ <https://jsite.mhlw.go.jp/gunma-roudoukyoku/>



転倒災害はなぜ起こる？

WHY?



主な原因

つまづく

- 何もないところでつまづく
- 物につまづく
- 通路の凸凹につまづく
- 車止めにつまづく
- 配線コードにつまづく

すべる

- 凍結した通路ですべる
- 水・油・洗剤などですべる

反動

- 足がもつれる
- バランスを崩した
- 人を避けようとして転ぶ
- 焦っていた
- 急いでいた



チェックしてみましょう!!
NOの項目は改善しましょう!!

チェック項目	YES	NO
通路、階段、出口に物を放置していませんか		
床の水たまりや氷、油、粉類などは放置せず、その都度取り除いていますか		
安全に移動できるように十分な明るさ（照度）が確保されていますか		
転倒を予防するための教育を行っていますか		
作業靴は、作業現場に合った耐滑性があり、かつちょうど良いサイズのものを選んでいませんか		
ヒヤリハット情報を活用して、転倒しやすい場所の危険マップを作成し、周知していますか		
段差のある箇所や滑りやすい場所などに注意を促す標識をつけていませんか		
ポケットに手を入れたまま歩くことを禁止していますか		
ストレッチ体操や転倒予防のための運動を取り入れていますか		

転倒災害は防げる災害です

しっかりと対策を講じて、転倒災害を防止しましょう!!



4Sを徹底しよう!

- 整理
- 整頓
- 清掃
- 清潔



転倒危険場所を「見える化」しよう!



日頃から足腰を鍛えよう!



転倒しにくい作業方法を実施しよう!



時間に余裕を持って行動しよう!

令和5年 労働者死傷病報告受理件数表

参考1

令和5年11月末現在
群馬労働局

業種別	署別	高崎	前橋	桐生	太田	沼田	藤岡	中之条	群馬局計	前年同期	増減
製 造 業		109	238	46	186	14	37	6	636	656	-20
	食料品製造業	45	83	8	38	6	11	2	193	204	-11
建 設 業		2	1	2	1			1	7		7
	木造家屋等建築工事業	52	72	23	38	6	10	11	212	190	22
運 輸 交 通 業				1					1		1
	道路貨物運送業	38	116	13	89	9	5	3	273	273	
林 業				1					1		1
	道路貨物運送業	33	110	11	86	6	5	2	253	262	-9
小 売 業		4	1	3	1	2	4	3	18	19	-1
	飲食店	47	119	28	52	10	5	5	266	241	25
社会福祉施設	57	75	26	29	10	10	2	209	178	31	
接客娯楽業		16	29	7	23	14	2	14	105	117	-12
	飲食店	12	21	6	15	1	2		57	44	13
上記以外の事業		2							2		2
	清掃・と畜業	101	177	21	84	19	15	16	433	423	10
計		4	3	3	1	1	1	1	14	4	10
		424	827	167	502	84	88	60	2,152	2,097	55
前年同期		429	815	129	443	124	99	58	2,097		
増 減		4	1	3	-1	1	1	1	10		
		-5	12	38	59	-40	-11	2	55		

災害の種類別

災害の種類別	署別	高崎	前橋	桐生	太田	沼田	藤岡	中之条	群馬局計	前年同期	増減
事故の型別	墜落・転落	2	1	1				1	5		5
	転 倒	71	115	16	61	16	8	13	300	306	-6
	はさまれ・巻き込まれ	106	204	43	103	23	18	14	511	501	10
	切れ・こすれ	46	100	24	74	13	8	11	276	298	-22
	動作の反動・無理な動作	28	54	5	36	3	10	2	138	132	6
起 因 物 別	建設機械等	54	163	23	85	13	14	6	358	321	37
	食品加工用機械	5	7	2	5	5	2	3	29	22	7
	トラック	5	16		3	2	2	1	29	39	-10
外国人の災害	32	59	6	40	3	4	3	147	157	-10	
建設公共工事の災害		16	70	12	89	7	3	5	202	154	48
		2	8	4	5	3	3	5	32	27	5

- 注1 この表は、死亡及び休業4日以上労働者死傷病報告を集計しています。
 注2 各項目の下欄は死傷者数合計、上欄は死亡者数で下欄の数の内数です。
 注3 下の表は災害の種類別で、特に項目を設定して集計しています。
 注4 新型コロナウイルス感染症のり患による労働災害を除いたもの。

令和5年 死亡災害事例

参考2

令和5年11月末現在
群馬労働局

番号	発生月 発生時間帯 事業場規模	年齢 職種	災害のあらまし	業種	事故の型別	起因物別
1	1月 18時頃 30～49人	60歳代 教員	校内の階段踊り場に倒れていたところを発見された。	その他の 教育研究業	墜落、転落	階段、棧橋
2	2月 15時頃 30～49人	50歳代 作業員	町道陥没箇所の復旧作業で、路盤のアスファルト等を掘削中、護岸ブロック積擁壁裏の地盤が浸食されていたため、擁壁が町道側に傾き、近くにいた被災者の下半身が擁壁と地山の間にはさまれた。	道路建設 工事業	崩壊、倒壊	建築物、 構築物
3	2月 0時頃 100～299人	40歳代 運転者	県外の荷主先敷地内でフォークリフトを使用してトラックから荷降ろし中、荷台の状況を確認するため、フォークリフトから降りてトラックとの間にいたところ、フォークリフトが逸走してはさまれた。	一般貨物 自動車運送業	はさまれ・ 巻き込まれ	フォーク リフト
4	3月 16時頃 1～9人	20歳代 運転者	建築物の基礎工事中、丁張（木杭）を取り除くため、ドラグショベルの作業半径内に立ち入ったところ、旋回したドラグショベルのバケット部分に激突された。	鉄骨・鉄筋 コンクリート 造家屋 建築工事業	激突され	掘削用機械
5	3月 14時頃 10～29人	60歳代 作業員	杉の木（胸高直径45cm、樹高21m）を同僚が伐採したがかかり木となり、重機でかかり木を牽引処理する作業中、かかり木が倒れ、下敷きになった。	木材伐出業	激突され	立木等
6	3月 16時頃 1～9人	40歳代 作業員	太陽光パネルを高さ約3mの架台に設置するため、パネルを入れたラックをトラクターショベル（バケットをフォークに変更）で持ち上げ、ラックに脚立で上がって作業をしていたところ、ラックがフォークから脱落すると同時に墜落し、被災者の上にパネルが落下した。	機械器具 設置工事業	墜落、転落	整地・運搬・ 積込み用機械
7	3月 15時頃 1～9人	50歳代 作業員	配水場改修工事でアンカーボルトの削孔を行うため、深さ5mのマンホール内に発電機（内燃機関）を設置し、使用していたところ、一酸化炭素中毒になった。（1人死亡、3人休業）	上下水道 工事業	有害物等との 接触	原動機
8	5月 10時頃 10～29人	60歳代 作業員	事業場敷地内の擁壁の上にフェンスを設置するための基礎工事作業中、約5m下の地面に転落した。	その他の 土木工事業	墜落、転落	作業床、 歩み板
9	6月 9時頃 100～299人	50歳代 作業員	工場内の機械設備（重量約1t）を移動させる際、機械を平台車に載せ、フォークリフトで牽引していたところ、機械が傾き、補助作業を行っていた被災者が機械と壁の間にはさまれた。	プラスチック 製品製造業	崩壊・倒壊	人力運搬機
10	7月 16時頃 1～9人	20歳代 作業員	12階建てマンションの修繕工事に使用したクサビ緊結式足場の解体中、足場作業用リフトに足場材を積み込むため、手すりを外しておいたところ、その開口部から約17m下の地面に墜落した。	鉄骨・鉄筋 コンクリート 造家屋 建築工事業	墜落、転落	足場

番号	発生月 発生時間帯 事業場規模	年齢 職種	災害のあらまし	業種	事故の型別	起因物別
11	8月 9時頃 100～299人	40歳代 販売店員	所属店舗内の従業員専用階段前の通路で倒れているところを発見された。	その他の小売業	その他	その他の起因物
12	9月 12時頃 10～29人	40歳代 作業者	出張先の事業場にある変電設備の調査のため、キュービクル内部の変圧器の銘板を確認作業中に充電部分に接触して感電した。	その他の事業	感電	電力設備
13	9月 5時頃 10～29人	70歳代 配達員	自車で新聞配達中、配達先の敷地内の窪みで車両が炎上しているところを発見され、車内から被災者が発見された。	新聞販売業	火災	乗用車、バス、バイク
14	11月 8時頃 1～9人	40歳代 運転者	護岸ブロック積擁壁の裏込め材の運搬を担当していた被災者が、護岸天端から約4m下の河床基礎コンクリート部に墜落した。	河川土木工事	墜落、転落	その他の仮設物、建築物、構築物等

注)記述内容は上記期日時点の情報を取りまとめたものであり、今後、変更になる可能性があります。